

暑さ吹き飛ぶ夏祭り

みこしを担いで市街地を練り歩く「かつがっせ」の参加者
＝多治見市本町



多治見 市民ら多彩なダンス披露

多治見市の夏の風物詩「みんなでてりゃあ夏まつり」が4日、市中心部で開かれ、ダンスステージやみこしの練り歩きなどの多彩な催しが町を祭り一色に染めた。

(山本貴史)

「千人みこし」 町を練り歩く

同市新町の市産業文化センターではダンスコンテスト「おどろっせ」を開催。大人から子どもまでのさまざまなチームが出演し、多彩なダンスを披露した。

午後6時すぎには、5基のみこしが市街地を練る「かつがっせ」がスタート。「千人みこし」を先頭に、同市本町の多治見橋から東濃信用金庫本店までを約90分かけて練った。みこしが東濃信金本店に到着すると、「総ごさっせ」でフィナーレを飾り、約500人の市民らが息の合った踊りを見せた。